

**製品名: ALPP マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80856**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALPP
別名	ALP; PALP; PLAP; FLJ61142; ALPP
遺伝子 ID	250.0
SwissProt ID	P05187
免疫原	大腸菌で発現したヒト ALPP の精製された組み換え断片。

**背景**

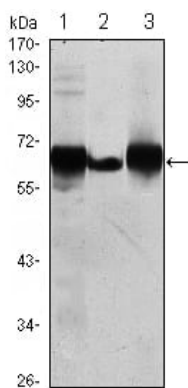
少なくとも4つの異なるが関連のあるアルカリホスファターゼ、すなわち腸管型、胎盤型、胎盤様型、および肝臓/骨/腎臓型（組織非特異的）が存在します。最初の3つは染色体2に共存し、組織非特異的の型は染色体1に位置しています。この遺伝子産物は膜結

合型グリコシル化酵素であり、耐熱型とも呼ばれ、主に胎盤で発現しますが、腸管型および胎盤様型と密接に関連しています。この型のアルカリホスファターゼのコード配列は、3'非翻訳領域に Alu ファミリーリピートの複数のコピーが含まれるという点で独特です。さらに、この遺伝子は多型性があり、この型のアルカリホスファターゼには 3つの共通対立遺伝子 (タイプ 1、タイプ 2、タイプ 3) が詳細に特徴付けられています。

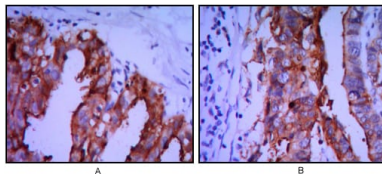
## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 (1)、A431 (2)、MCF-7 (3) 細胞溶解物に対する ALPP マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ALPP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌 (A)、胃癌 (B) の免疫組織化学分析。